授業科目名・形態	精神保健の課題と支援Ⅰ講義	必修選択	選択	単位数	2
科目担当者氏名	田中　誠	実務経験	有	開講期	3年前期
科目ナンバリング	W4-3012p(ss)				

「授業の主題」

精神保健では様々なことを学習する。それは精神保健の基本的な知識、ライフサイクルにおける精神保健、精神保健における個別課題への取り組み地域精神保健と地域保健、諸外国における精神保健、関連法規及び施設などが含まれる。受講生は１年かけて精神保健の幅広い取り組みを知り、そこ奥の深さを知ってほしい。

「到達目標」

1) 精神保健の重要性と健康や精神保健の定義等についての基本的な考え方を学ぶ
2) 現代社会におけるライフサイクルの意味と各ライフステージに関連した精神の問題、現代社会におけるストレスをめぐる問題、生活習慣の変化が身体と精神に及ぼす影響などを理解する。
3) 上記の問題に取り組む精神保健福祉士の役割について学ぶ。

「授業計画・内容」

第１回　精神保健の概要
第２回　現代の精神保健分野の動向
第３回　精神保健活動の対象と精神の健康に関する心的態度および生活と嗜癖
第４回　家族関係における精神保健（出産育児、介護等）
第５回　社会的引きこもりをめぐる精神保健および家族関係の課題
第６回　グリーフケアおよび精神保健支援を担う機関
第７回　精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ①
第８回　精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ②
第９回　精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ①
第１０回　精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ②
第１１回　災害被災者の精神保健および犯罪被害者等の支援
第１２回　自殺予防および身体疾患に伴う精神保健
第１３回　貧困問題および社会的孤立への精神保健
第１４回　性的マイノリティと多文化の精神保健
第１５回　反復違法行為および高齢化の精神保健

「授業実施方法」 基本的には講義形式に行う。

「授業事前・事後」事前に教科書を読んでおくことと、アンダーラインを引いたところ復習すること

「主に関連する科目」「精神科リハビリテーション論」中央法規

「教科書等」最新精神保健福祉士養成講座「精神保健の課題と支援」　中央法規

「参考文献」随時講義の中で紹介する。

「成績評価方法」 筆記試験８０％、授業態度２０％等で総合的に判断する。

「実務経験及び実務を活かした授業内容」実務経験得た援助場面を想定し、学生に対応を考えてもらう

「学生へのメッセージ」

社会環境問題なども含めて精神保健の課題と支援を総合的に理解することが求められる